KENWOOD

DVD ホームシアターシステム

DVT-6300

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用の前に、「安全上のご注意」（4〜8ページ）を必ずおよみください。

MP3 / WMA

B60-5479-08 00 (J) OC 04/02

もくじ

⚠ このマークのついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

準備編

操作編

知識編

特長

この説明書では次のようなマークで、DVD、ビデオCD、またはCDで使用できる機能を表しています。

DVD :DVDで使用できる機能を表します。

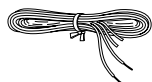
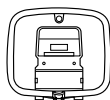
VCD :VCD（ビデオCD）で使用できる機能を表します。

CD : CDで使用できる機能を表します。

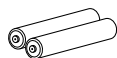
- ◆ ***S-VHSやレーザーディスクを越える高画質*** DVD
- ◆ ***音楽CDよりもサンプリング周波数が高く、高音質で楽しめます*** DVD
- ◆ ***オンスクリーンディスプレイ機能*** DVD VCD CD
- ◆ ***MP3、WMA、JPEGファイルの再生が可能***
- ◆ ***ドルビーデジタル、DTS デコーダー内臓*** DVD VCD CD
- ◆ ***ドルビープロロジックII デコーダー内臓*** DVD VCD CD

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM室内アンテナ .... (1)

AMループアンテナ ..... (1)

ビデオコード（黄色） .....(1)

リモコン .... (1)

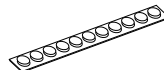
リモコン用乾電池（単4） .... (2)

スピーカー部の付属品

スピーカーコード .... (6)

	長さ
左右フロントスピーカー (2)	4.5 m
センター用スピーカー (1)	3 m
リアスピーカー用 (2)	8 m
サブウーハー用 (1)	4.5 m

クッション (15)

(小 : 11 個 ×1 シート)

(大 : 4 個 ×1 シート)

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。
プログレッシブスキャン（525p順次走査）再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。
525p DVDプレーヤーとの接続について、ご不明な点は、最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

⚠ 警告

交流100ボルトの電圧で使用する

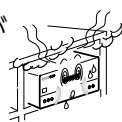
この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

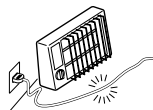
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

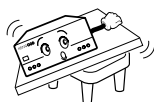
レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

使用できるディスクについて

再生できるディスクの方式と種類

本システムでは、CDで音楽を楽しむだけでなく、以下のディスクを再生することにより、映画やライブなどの映像を高画質で楽しむことができます。

再生できるディスク		DVD VIDEO		CD (CD-R, CD-RW)		VCD (SVCD*)	
ディスクに表示されているロゴマーク		DVD VIDEO	DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc SUPER VIDEO
ディスクの大きさ		8cm	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm
再生面		片面または両面	片面または両面	片面のみ	片面のみ	片面のみ	片面のみ
内容	映像+音声	約41分(片面1層) 約75分(片面2層) 約82分(両面1層) 約150分(両面2層)	約133分(片面1層) 約242分(片面2層) 約266分(両面1層) 約484分(両面2層)			最大20分 (SVCDの場合再生可能時間は短くなります。)	最大74分
	音声			最大20分デジタル	最大80分デジタル		

MP3 ディスクや、WMAディスク、JPEG画像も再生可能です。(CD-R, CD-RW) →39

- *本機はSVCDの再生が可能ですが、一部働かない機能もあります。
- 本機はDVDビデオモードで記録したDVD-R, DVD-RWディスクおよびDVD+R, DVD+RWディスク の再生が可能ですが、記録した機器、DISC の製造元などにより、再生できない場合もあります。
- 本機はCPRMに対応しているDVD-RWディスクは再生できません。CPRMとは、Content Protection for Recordable Mediaの略で、記録媒体用著作権保護技術の一つです。
- CD-R/RW再生の場合制作者の意図や、録音状態その他によって再生できない場合があります。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

- DVD-オーディオディスク
- DVD-ROMディスク
- DVD-RAMディスク
- SACDディスク
- CD-ROM(MP3, WMA、JPEGディスク [ISO 9660 level 1規格]を除く)
- VSDディスク
- CDVディスク（音声部分のみ再生可能）
- CD-G、CD-EG、CD-EXTRAディスク（音声部分のみ再生可能）
- フォトCDディスク（絶対に再生しないでください）

  - 本機のリジョンコード（“2”）と適合しないリジョンコードのDVDディスクは再生できません。 →10
  - ご使用のテレビとフォーマットの異なるビデオフォーマットのディスクは正常に再生できません。→10

DVDディスクに表示されている各種のアイコン(絵表示)について

アイコン	意　味
ALL	再生可能な地域番号(リジョンコード)を示します。
8	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大8ヶ国語)
32	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大32ヶ国語)
9	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。(最大9アングル)
16:9 LB	選ぶことのできるテレビ画面サイズを示します。(→19)左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

準備編

ビデオフォーマットについて

リジョンコード

本機の地域番号（リジョンコード）

ＤＶＤでは、国ごとに割り当てられた地域番号（リジョンコード）が定められており、ＤＶＤディスクに表示されている地域番号（リジョンコード）と一致しないと再生できません。

2 本機の地域番号（リジョンコード）は”2”です。

本機で再生できるDVDディスクの地域番号について

本機で再生できるDVDディスクは、本機の地域番号（リジョンコード）と一致した番号”2”が表示されているディスク、または本機の地域番号（リジョンコード）の含まれた表示のあるディスク、下の”ＡＬＬ”表示のあるディスクのみです。また地域番号（リジョンコード）の表示のないディスクでも、制限がある場合があり、本機で再生できないことがあります。

ディスクの違いによる制限について

ＤＶＤ、ＶＣＤは、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

テレビ画面のビデオフォーマットについて

テレビ画面のビデオフォーマット

テレビの画面表示方式およびディスクの信号方式には大きく分けて二つのタイプ（PAL/NTSC）があり、国や地域によって違います。（右図参照）このため、お使いになるテレビの方式（国や地域）に合わせて、ディスクを選ぶ必要があります。

主な国のテレビ方式

TVの方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリ...など
PAL	中国、北朝鮮、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージランド、クエート、シンガポール...など

メンテナンス

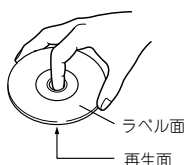
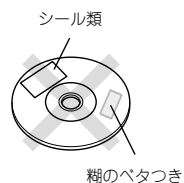
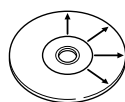
セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させせることがあります。

参考

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

異常なディスクは使用しない

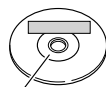
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

CDディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って、ディスクの入っていないことを確かめてください。

1. POWERをオンにします。
2. 数秒待って、表示部に下の表示になったことを確かめてください。

“NO DISC”

3. POWERボタンをオフにします。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

⚠ ご注意:このページは安全のため、よくお読みください。

下図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

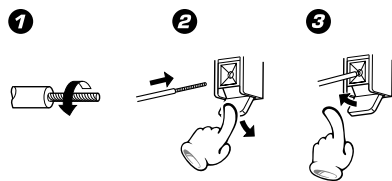
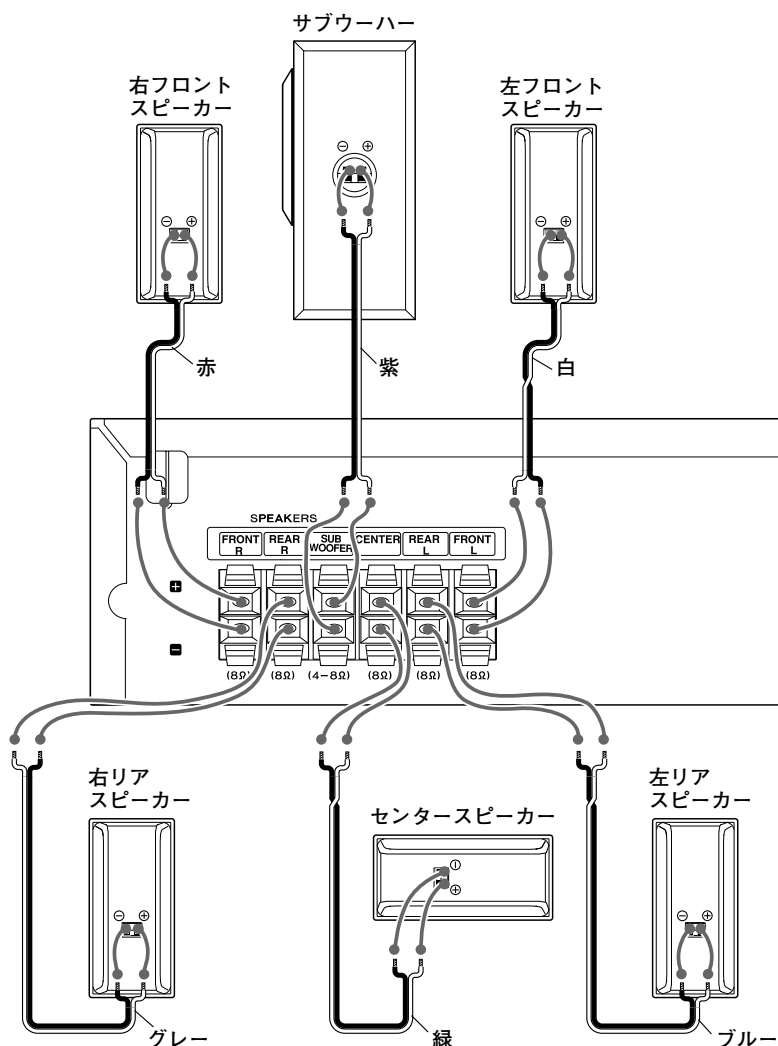
⚠注意
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。また、接続を変更する場合も電源プラグをコンセントから抜いて、接続の変更を行ってください。

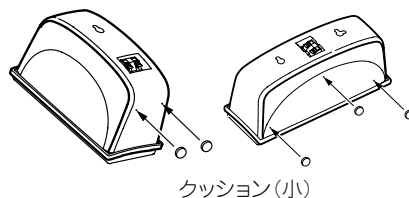
⚠注意
本機は、電源スイッチを OFF(オフ) にしても電源から完全には遮断されません。電源から完全に遮断する場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

マイコンの誤動作について
正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが…」を参照してマイコンをリセットしてください。 →44

設置のご注意
過熱による火災の原因となりますので、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

スピーカーの接続

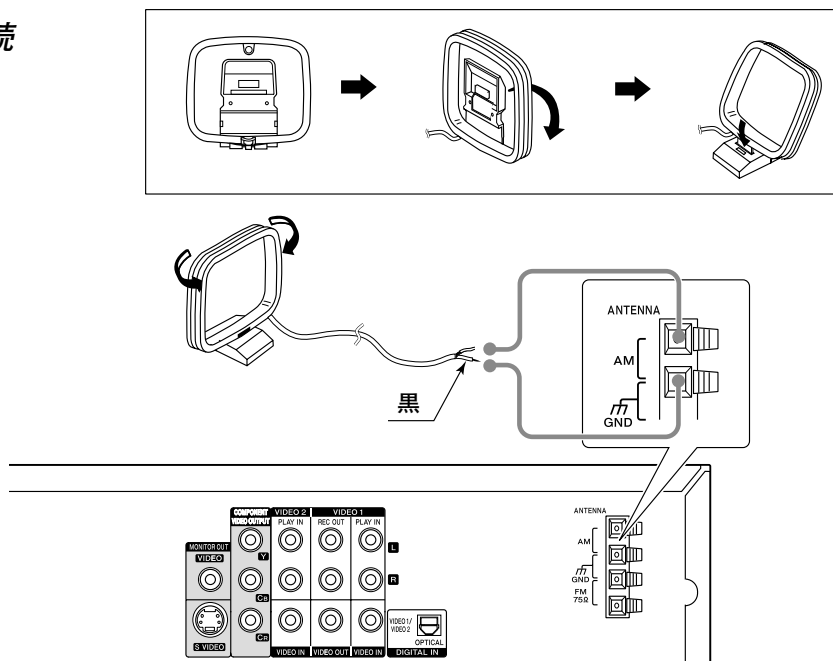
スピーカーの配置については「スピーカー設定」をご覧ください。 →25

コードを差し込みすぎると音がでなくなることがあります。

クッションの取り付け
スピーカーの底に下の図のようにクッションを貼ります。クッションを貼ることによって、滑り止めや、振動防止になります。

サブウーハー

サブウーハーの底の四隅にクッション(大)を貼ります。

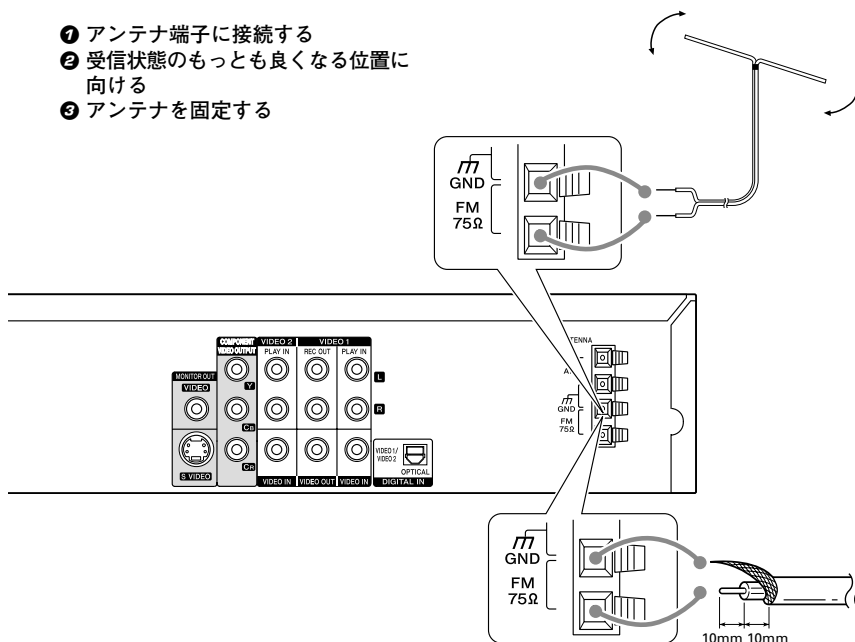
AMループアンテナ

AM ループアンテナの接続

付属のアンテナは室内専用です。本体や、テレビ、スピーカーコード、電源コードなどからできるだけ離してください。受信状態が一番良くなる向きにセットしてください。

FM アンテナ

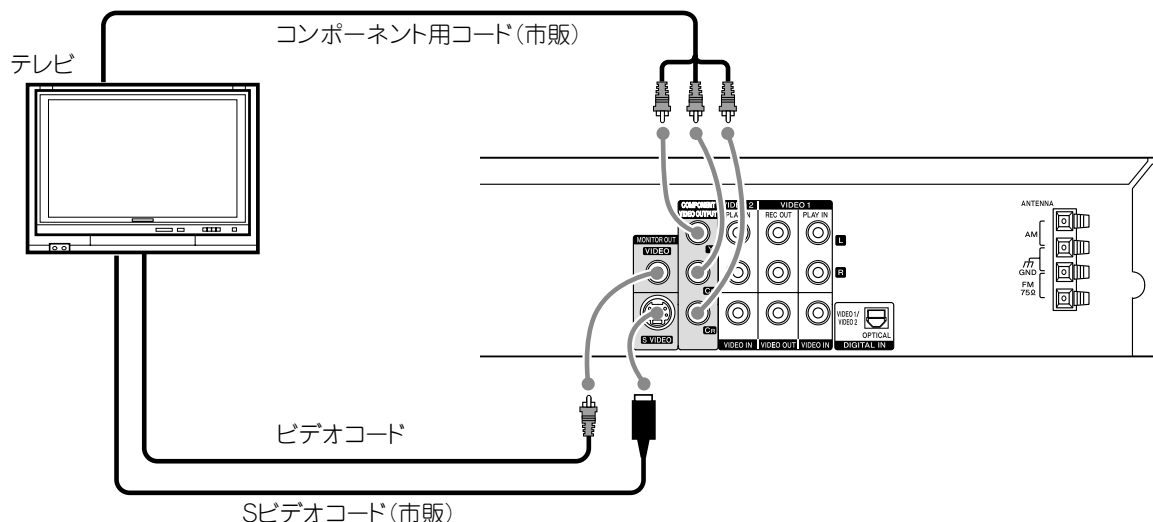
FM 室内アンテナの接続

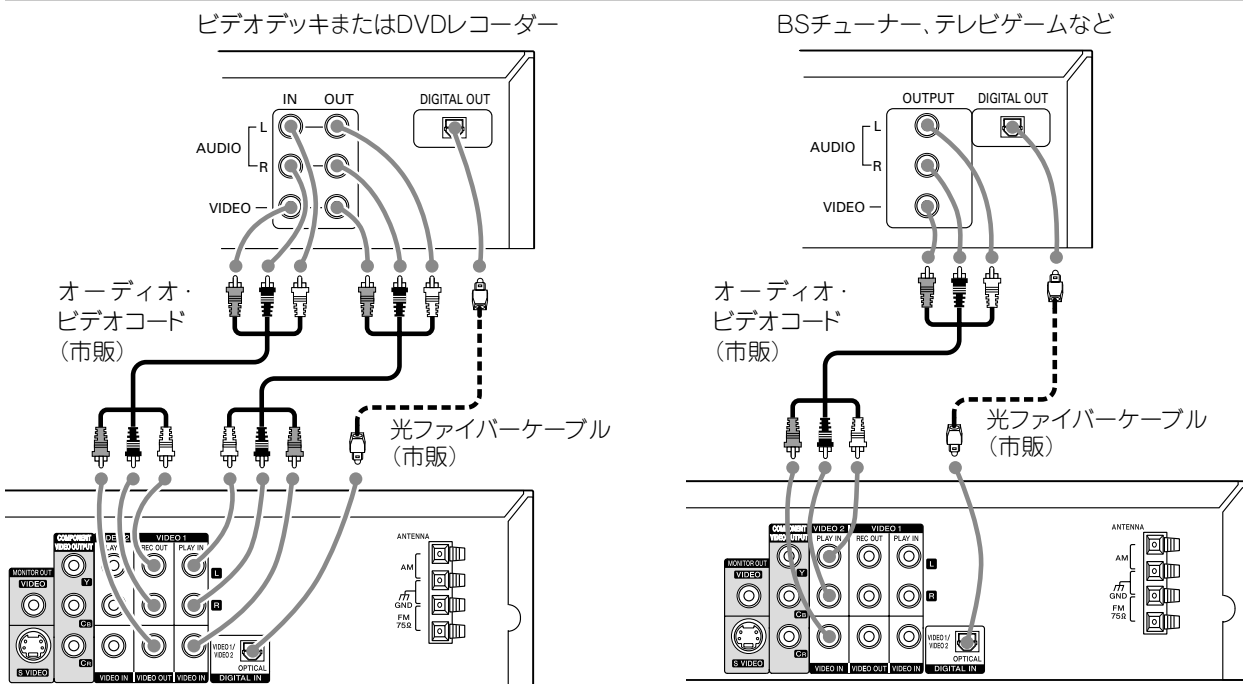
付属のアンテナは一時的に使用するための室内アンテナです。放送の安定した受信をするためには屋外アンテナのご使用をおすすめします。屋外アンテナを接続した場合は室内アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のもっとも良くなる位置に向ける
❸ アンテナを固定する

FM 屋外アンテナの接続（市販）

75 Ω 同軸ケーブルをFM屋外アンテナに接続して、図のように本機の FM 75 Ω 端子に接続します。

準備編

テレビとの接続

- 本機のS-ビデオ端子およびコンポーネント端子からは内蔵DVDの映像のみ出力されます。**VIDEO1**、**VIDEO2**端子につないだ機器の映像を本機より出力するには、ビデオコード(コンポジット)をテレビと接続してください。
- ご使用のテレビや、モニターにより本機の端子名称と異なる場合があります(Y, Pb, PrやY, B-Y, R-Yなど)。
- インターレース(525i)、プログレッシブ(525p)に対応していないハイビジョンテレビのコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。(詳しくは、接続するハイビジョンテレビの取扱説明書を参照してください。

オーディオビデオ機器との接続

- 本機のVIDEO1またはVIDEO2に接続した機器にOptical digital outがある場合はOptical cableで接続できます。(VIDEO1またはVIDEO2のいずれか一方のみ接続できます。)

光ファイバーケーブルについて

光ファイバーケーブルはまっすぐにカチッと音がするまで差し込んでください。
光ファイバーケーブルは絶対に折り曲げたり束ねたりしないでください。
市販の光ファイバーケーブルの中には本機と適合しないものもあります。接続できないときは購入店、または最寄りの営業所にご相談ください。

DTSに関する注意事項

DTSデジタルサラウンドは独立した5.1チャンネルのデジタルオーディオフォーマットで、CD、LD、そしてDVDソフトウエアに使われていますが、たいていのCD、LD、DVDプレーヤーではデコードできませんし、また再生もできません。このため、DTSでエンコードされたソフトウエアを再生すると、CD、LD、またはDVDプレーヤーのアナログステレオ出力から雑音が出ることがあります。これらのアナログステレオ出力がアンプまたはレシーバーに直接接続されている場合にはご注意ください。
本機はDTSデジタルサラウンドデコーダーを搭載しています。

S-VIDEO（ビデオ）端子接続について

映像信号をカラー（C）信号と照度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

詳しくは、テレビの取扱説明書をよくお読みください。

コンポーネント（色差映像出力端子）接続について

赤（**CR**）、青（**CB**）、照度（**Y**）信号をそれぞれ独立して出力し、色をより忠実に再現します。
詳しくは、テレビの取扱説明書をよくお読みください。

- インターレース（525i）、プログレッシブ（525p）に対応していないハイビジョンテレビの色差入力端子には、接続しないでください。

テレビと接続するときのご注意

本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して接続すると（ビデオ一体型テレビのビデオ入力端子に接続した場合も）、コピー防止機能が働き、再生のときに画像が乱れることがあります。

各部の名前

❶ STANDBY 表示
❷ ON/STANDBY ボタン →18 →30
❸ リモコン受光部 →17
❹ ディスクトレイ →30
❺ OPEN/CLOSE (⏏) ボタン →30
❻ SKIP (⏮, ⏭) / TUNING ボタン →27 →31
❼ STOP (■) /MEMORY ボタン →28
❽ PAUSE (❚❚) / ST/MONO ボタン →27 →30
❾ PLAY (▶) / [INPUT SELECTOR] ボタン →26 →30
❿ VOLUME CONTROL ツマミ →26
⓫ PHONES（ヘッドホーン）端子 →26

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

型名 : RC-R0311
赤外線方式

本体と同じ名前のリモコンキーは本体と同じ働きをします。

❶ **POWER** ボタン →18 →26
❷ 入力切り換えボタン →26
　CD/DVD ボタン
　TUNER/BAND ボタン
　VIDEO 1/2 ボタン
❸ 数字ボタン →27 →32
❹ **AUDIO** ボタン →33
　LISTEN MODE ボタン →24
❺ **SET UP** ボタン →18
❻ カーソル上 (▲), 下 (▼), 左 (◄),
　右 (►) ボタン →18
　ENTER ボタン →18
❼ **MENU** ボタン →30
❽ **SLOW** (◄I,I►) ボタン →32
❾ **PRESET** ボタン →27
❿ I◄◄,►►I (スキップ) ボタン →31
⓫ ■ (停止) ボタン →30
　II (一時停止) ボタン →30
⓬ **P.MODE** ボタン →37
　CLEAR ボタン →38
⓭ **MARKER** ボタン →33
　(MARKER)-SEARCH ボタン →33
⓮ **OPEN/CLOSE** (⏏) ボタン →30
⓯ **SLEEP** ボタン →43
⓰ **SUB TITLE** ボタン →33 →40
　RETURN (↶) ボタン →40
⓱ **ON SCREEN** ボタン →29
⓲ **TOP MENU** ボタン →30
⓳ **VOLUME**
　上 (▲), 下 (▼) ボタン →26
⓴ ► (再生) ボタン →26
　MUTE ボタン →26
㉑ **REPEAT** ボタン →35
　(REPEAT) A-B ボタン →35
㉒ **ANGLE** ボタン →34
　ZOOM ボタン →35
㉓ **DIMMER** ボタン →43

準備編

電池の入れかた

❶ 電池カバーをはずす

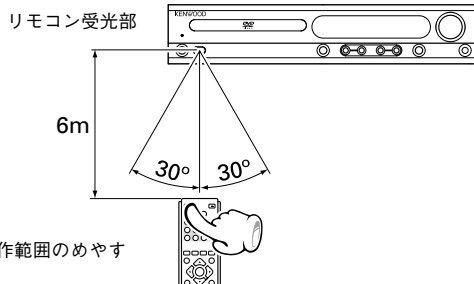
❷ 乾電池を入れる

❸ 電池カバーをする

● 単四電池 2 本を極性表示に合わせて入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、本体の **ON/STANDBY** ボタンまたはリモコンの**POWER**ボタンを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。
電源をオフにするときは、再度**ON/STANDBY**ボタンまたは**POWER**ボタンを押します。

●リモコンの各操作ボタンを押してから次のボタンを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2 個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、 誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

DVT-6300 (JA/J)

初期設定の準備

電源入れる。

初期設定(Set up)メニュー画面

準備編

初期設定画面は次のような色々な設定ができます。ご使用の環境に合わせて切り換えてください。各項目の操作のしかたは19ページから22ページを参照してください。

メニュー画面の表示をしたり、元に戻るには。

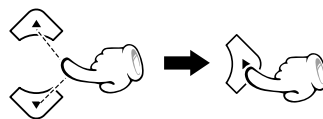
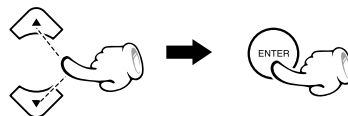
リモコンのSETUP ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。もう一度押すと元の画面に戻ります。

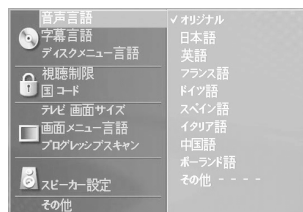
次の選択項目に移るとき:
リモコンのカーソル右(►)ボタンを押す。

元の項目(メニュー画面)に戻るとき:
リモコンのカーソル左(◄)ボタンを押す。

一般的な操作方法

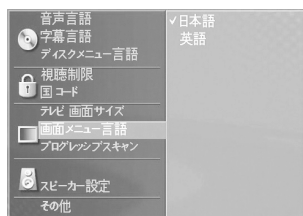
❶ **リモコンのSETUPボタンを押す。**
セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ **リモコンのカーソル上下(▲/▼)ボタンを押して、変更する項目を選択し、カーソル右(►)ボタンを押す。**
画面上には現在設定されている内容が表示されます。

❸ **リモコンのカーソル上下(▲/▼)ボタンを押して、項目を選択し、ENTER(エンター)ボタンを押して、内容を確定する。**
項目によっては次のステップがある場合もあります。

❹ **リモコンのSETUPボタンまたは ►(再生)ボタンを押して、元の画面に戻る。**

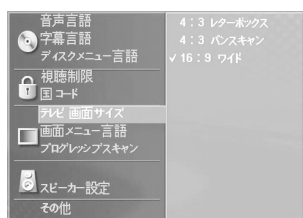
言語

ディスク音声言語/ディスク字幕言語/ディスクメニュー言語 DVD

ディスクの音声、字幕、メニューの優先言語の選択をします。

オリジナル：ディスクに記録されているオリジナルの言語で再生します。

その他：その他の言語を選ぶ場合は、22ページ「DVDメニュー言語コード表」を参照して、4桁のコード番号を数字ボタンで入力し、ENTER(エンター)ボタンを押します。
入力を間違ったときは、CLEAR(クリアー)ボタンを押して入力し直します。

画面表示言語

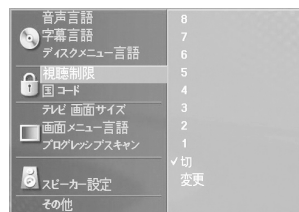
セットアップメニューや、画面表示の言語を選びます。

テレビ画面サイズ

テレビ画面サイズ DVD

4:3 レターボックス：従来サイズのテレビを接続しているときで、ワイド画面をそのまま表示します。上下に黒い帯がでます。

4:3 パンスキャン：従来サイズのテレビを接続しているときで、ワイド画面を従来サイズの画面一杯に表示します。左右の部分はカットされます。
この形式に適合しないディスクもあります。その場合は上下に黒い部分が残ります。

16:9ワイド：ワイド画面のテレビを接続しているとき。

視聴制限

視聴制限 DVD

未成年に見せたくないDVDソフトなどの再生を制限する機能です。多くの場合、成人用ソフトにはDVDソフト自身に、視聴制限するレベルの設定がされています。

視聴制限のレベルは1〜8までに分けられます。視聴制限の対応したソフトはそのどれかのレベルに設定されています。

視聴制限レベルの設定は次のようにします。

1. **メニュー画面の「視聴制限」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン（▶）を押す。**
2. **【パスワードが未設定の場合】**
   数字ボタンで4桁のパスワードを新しく入力し、**ENTER**(エンター)ボタンを押す。
   確認のためもう一度パスワードを入力し、**ENTER**ボタンを押す。
   【パスワードが設定済みの場合】
   数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、**ENTER**ボタンを押す。
   間違えて入力した場合は**ENTER**ボタンを押す前に**CLEAR**(クリアー)ボタンをおして入力しなおしてください。
3. **カーソル上下（▲/▼）ボタンで1〜8を選ぶ。**

レベル1〜8：
レベル1は最も制限が高く、レベル8は最も低い制限になります。

なし：
視聴制限が解除され、すべてのDVDが再生されます。

視聴制限がセットされていると、設定されたレベルより高い設定のシーンは再生されず、停止します。そのディスクを再生する場合はレベルを変更する必要があります。

4. **ENTER ボタンを押して確定し、SETUP(セットアップ)ボタンを押してメニュー画面を終了する。**

この機能はDVDソフトによって働かない場合もあります。

準備編

視聴制限(続き)

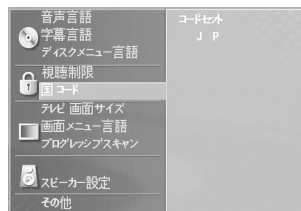
パスワードを変更する

❶ メニュー画面の「パスワード」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン(►)を押す。
❷ 変更前の4桁のパスワードを入力する。
❸ カーソル上下ボタン(▲/▼)を押し「変更」を選んでENTER(エンター)ボタンを押す。
❹ 新しく設定する4桁のパスワードを入力し、ENTERボタンを押す。
確認のためもう一度パスワードを入力し、ENTERボタンを押す。
❺ SETUP(セットアップ)ボタンを押して、メニュー画面を終了する。

パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れてしまった場合は次の手順でリセットできます。

❶ SETUPボタンをおして、セットアップメニューを表示させる。
❷ 6桁の数字 "210499" を入力するとパスワードがリセットされます。
❸ 上の手順で新しいパスワードを入力します。

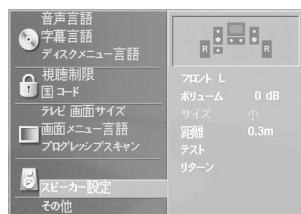
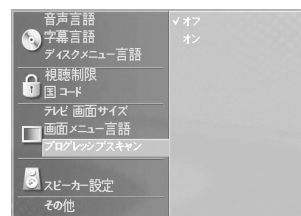
国コード DVD

視聴制限レベルは国によって異なります。22ページの「国コード表」を参照して、国コードを設定します。

(工場出荷時はJP「日本」に設定されています。)

❶ メニュー画面の「国コード」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン(►)を押す。
❷ 19ページの「視聴制限」の手順 ❷ の操作を行う。
❸ カーソル上下(▲/▼)ボタンを使って、最初に文字を選択する。
❹ カーソル右ボタン(►)を押し次の桁に移動し、カーソル上下(▲/▼)ボタンで、次の文字を選択する。
❺ ENTERボタンを押して、確定する。

スピーカー設定 DVD

スピーカーの音量バランス、遅延時間(スピーカーの距離)、サイズなどの設定を行います。

「スピーカー設定」(→25)を参照の上、設定してください。

プログレッシブスキャン DVD

プログレッシブスキャン方式では通常のインターレース方式に比べ鮮明でちらつきのない画面で見ることができます。
COMPONENT(コンポーネント) VIDEO(ビデオ) OUTPUT(アウトプット)端子に接続してあっても接続したテレビが通常のテレビの場合は「オフ」に設定してください。
COMPONENT VIDEO OUTPUT端子にプログレッシブスキャン対応のテレビを接続した場合は「オン」を選びます。

プログレッシブスキャンを「オン」に設定すると対応のテレビ以外では正常に表示されません。

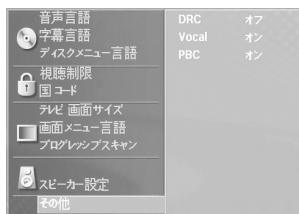
間違って、設定した場合は下の手順で本機のビデオ出力の設定をリセットする必要があります。

❶ リモコンのSETUPボタンを押す。(本機表示部に「SETUP」と表示されている場合)
❷ ■(停止)ボタンを押して、再生中のディスクを停止させる。(本機表示部に「STOP」と表示されます)
❸ もう一度 ■(停止)ボタンを5秒以上押す。

ビデオ出力の設定がリセットされて通常のテレビで見れるようになります。

その他

DRC (ダイナミックレンジコントロール)、Vocal (音声)とPBC(プレイバックコントロール)の設定ができます。

カーソル上下(▲/▼)ボタンを押し設定を変更する項目を選び、ENTERボタンを押します。押すたびに「オン」と「オフ」が切り換わります。

DRC VCD

ドルビーデジタル音声のDVDを再生するとき最大音量と最小音量の差を小さくします。夜中に静かに聞くときなどに使います。「オフ」のときは元に信号をそのまま出力します、「オン」のときは最大音量と最小音量の差を小さくします。

この機能はドルビーデジタルディスクのときのみ有効になります。

Vocal(ボーカル) DVD

マルチチャンネルカラオケディスクを再生するときに「オン」にします。
カラオケチャンネルはステレオ信号にミックスして出力されます。

PBC VCD

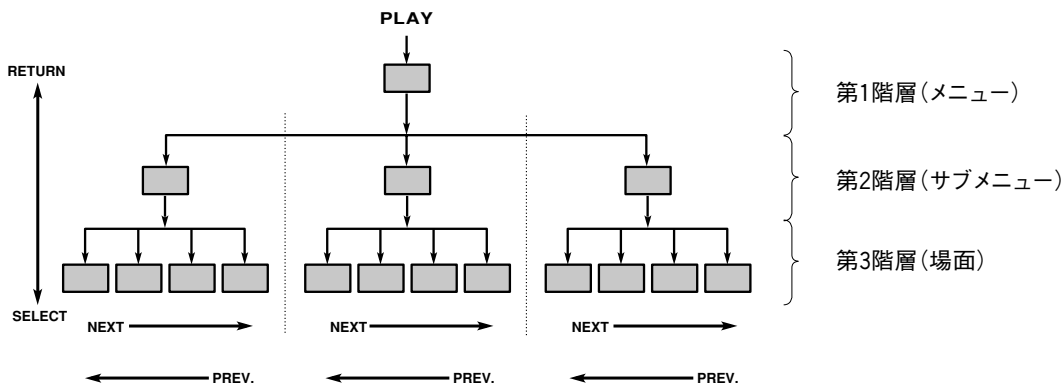
P.B.C.(プレイバックコントロール)のオン・オフを設定します。

オン: P.B.C.機能付のビデオCDをP.B.C.を使って再生するとき。

オフ: P.B.C.機能付のビデオCDをP.B.C.を使わず通常のCDと同様に再生するとき。

VCDメニューの階層構造について(P.B.C.機能)

メニュー画面の含まれている、P.B.C.機能付きVCD(ビデオCD)を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが段階的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例

進むとき

カーソルキー(▲/▼/◀/▶)、または数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層メニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

● 各階層で選択可能なメニュー(場面)が複数ある場合は、▶▶I(NEXT)、I◀◀(PREV)キーで画面の切り換えができます。

戻るとき

RETURNキーを押すたびに、一つ上の階層のメニューへ戻っていきます。

DVDメニュー言語コード表

言　語	コード
アファル	6565
アブハジア	6566
アフリカーン	6570
アムハラ	6577
アラビア	6582
アッサム	6583
アイラマ	6588
アゼルバイジャン	6590
バシキール	6665
ベロルシア	6669
ブルガリア	6671
ビハール	6672
ベンガル：バングラ	6678
チベット	6679
ブルターニュ	6682
カタロニア	6765
コルシカ	6779
チェコ	6783
ウェールズ	6789
デンマーク	6865
ドイツ	6869
ブータン	6890
ギリシャ	6976
英語	6978
エスペラント	6979
スペイン	6983
エストニア	6984
バスク	6985
ペルシャ	7065
フィンランド	7073
フィジー	7074

言　語	コード
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
アイルランド	7165
スコットランド	7168
ガリチア	7176
グアラニー	7178
グジャラト	7185
ハウサ	7265
ヒンディー	7273
クロアチア	7282
ハンガリー	7285
アルメニア	7289
インターリングア	7365
インドネシア	7378
アイスランド	7383
イタリア	7384
ヘブライ	7387
日本語	7465
イディッシュ	7473
ジャワ	7487
グルジア	7565
カザフ	7575
グリーンランド	7576
カンボジア	7577
カンナダ	7578
韓国語	7579
カシミール	7583
クルド	7585
キルギス	7589
ラテン	7665

言　語	コード
リンガラ	7678
ラオ	7679
リトアニア	7684
ラトビア（レット）	7686
マダガスカル	7771
マオリ	7773
マケドニア	7775
マラヤーラム	7776
モンゴル	7778
モルダビア	7779
マラッタ	7782
マライ（マレー）	7783
マルタ	7784
ビルマ	7789
ナウル	7865
ネパール	7869
オランダ	7876
ノルウェー	7879
オーリャ	7982
パンジャブ	8065
ポーランド	8076
パシュト	8083
ポルトガル	8084
ケチュア	8185
レトロマンス	8277
ルーマニア	8279
ロシア	8285
サンスクリット	8365
シンド	8368
セルボクロアチア	8372
シンハラ	8373

言　語	コード
スロバキア	8375
スロベニア	8376
サモア	8377
ショナ	8378
ソマリ	8379
アルバニア	8381
セルビア	8382
スンダ	8385
スウェーデン	8386
スワヒリ	8387
タミル	8465
テルグ	8469
タジク	8471
タイ	8472
ティグリニア	8473
トルクメン	8475
タガログ	8476
トンガ	8479
トルコ	8482
タタール	8484
トウイ	8487
ウクライナ	8575
ウルドゥー	8582
ウズベグ	8590
ベトナム	8673
ヴォラビュック	8679
ウォロフ	8779
コーサ	8872
ヨルバ	8979
ズールー	9085
中国語	9072

準備編

国コード表

国	コード
アフガニスタン	AF
アルゼンチン	AR
オーストラリア	AU
オーストリア	AT
ベルギー	BE
ブータン	BT
ボリビア	BO
ブラジル	BR
カンボジア	KH
カナダ	CA
チリ	CL
中国	CN
コロンビア	CO
コンゴ	CG
コスタリカ	CR
クロアチア	HR
チェコ共和国	CZ
デンマーク	DK
エクアドル	EC
エジプト	EG
エルサルバドル	SV

国	コード
エチオピア	ET
フィジー	FJ
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
イギリス	GB
ギリシャ	GR
グリーンランド	GL
アイスランド	HM
香港	HK
ハンガリー	HU
インド	IN
インドネシア	ID
イスラエル	IL
イタリア	IT
ジャマイカ	JM
日本	JP
ケニア	KE
クウェート	KW
リビア	LY
ルクセンブルグ	LU

国	コード
マレーシア	MY
モルジブ	MV
メキシコ	MX
モナコ	MC
モンゴリア	MN
モロッコ	MA
ネパール	NP
オランダ	NL
アンチル列島	AN
ニュージーランド	NZ
ナイジェリア	NG
ノルウェー	NO
オーマン	OM
パキスタン	PK
パナマ	PA
パラグアイ	PY
フィリピン	PH
ポーランド	PL
ポルトガル	PT
ルーマニア	RO
ロシア	RU

国	コード
サウジアラビア	SA
セネガル	SN
シンガポール	SG
スロバキア	SK
スロベニア	SI
北アフリカ	ZA
北朝鮮	KR
スペイン	ES
スリランカ	LK
スエーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
トルコ	TR
ウガンダ	UG
ウクライナ	UA
アメリカ	US
ウルグアイ	UY
ウズベキスタン	UZ
ベトナム	VN
ジンバフェ	ZW

リッスンモードの設定

リッスンモードとは

本機は、さまざまなプログラムソースに対応した、サラウンドモードを備えており、ホームシアターとしてお楽しみ頂けます。サラウンドモードはそれぞれマルチチャンネルに対応していますが、方式によって内容が異なります。

● **Dolby Digital**：ドルビーデジタルサラウンドモードでは、ドルビーデジタルプログラムソース（DOLBY DIGITAL）マークの付いたDVDソフトなど）からの5. 1チャンネルのデジタル入力を、デジタルサラウンドサウンドでお楽しみいただけます。今までのドルビーサラウンドと比べて、ドルビーデジタルモードは、音質、空間的な広がり、そしてダイナミックレンジの面で、はるかに優れた効果を演出します。

● **Dolby Pro Logic / Dolby Pro Logic II**：Dolby Pro Logic（ドルビープロロジック）は、Dolby Surroundエンコードされたソース（Dolby Surroundロゴの付けられたビデオテープやレーザーディスクソフトなど）から映画館のようなサラウンドサウンドを再生するための再生方法です。

またDolby Pro Logic II はDolby Pro Logicをさらに進化させた新しいデコード技術です。2チャンネルのDolby Surroundプログラムソースからサラウンドチャンネルを左右独立チャンネルとした5.1チャンネルで再生することができます。Dolby Pro Logic II にはMOVIEモードとMUSICモードがあります。

MOVIEモード:
「ムービー」モードは、ステレオのテレビ番組とドルビーサラウンドでエンコードされたプログラムの全てに適しています。このモードでは、音場の方向性が強化される結果、独立した5.1チャネルサウンドの音質に迫ります。

MUSICモード:
「ミュージック」モードは、ステレオ録音された音楽に適しています。

MATRIXモード:
「マトリックス」モードは、方向性強化のロジックが有効にならない点を除き、「ミュージック」モードと同じです。このモードは、信号を強化し、モノラル信号を実際よりも広く聞こえるようにするために使うことができます。「マトリックス」モードは、FMステレオの受信状態が悪いときにも適しています。
FMステレオの受信状態が悪いときはモノラル受信にすることが最も効果的です。→27

● **DTS**：DTSは、ドルビーデジタルを上回るデータ量を持ち、より高音質のサラウンド再生ができます。DIGITAL dts SURROUNDマークのついたDVDソフトなどを再生することができます。信号のチャンネル数は、ドルビーデジタルと同じ5.1チャンネルですがデジタル録音時の音声圧縮率を低くしたフォーマットであるため、音の厚みのある高S/Nの再生が可能になっています。またダイナミックレンジが広くチャンネルセパレーションに優れるなど精密で雄大なサラウンドが特長です。

● **STEREO:** 、左右のスピーカーから通常のステレオサウンドを再生します。

● **3D Surround:** 左右のステレオスピーカーでマルチチャンネルをシミュレートして、サラウンド効果を出すことができます。

● **BYPASS:** ソースの録音フォーマットに合わせたサラウンドモードで出力します。

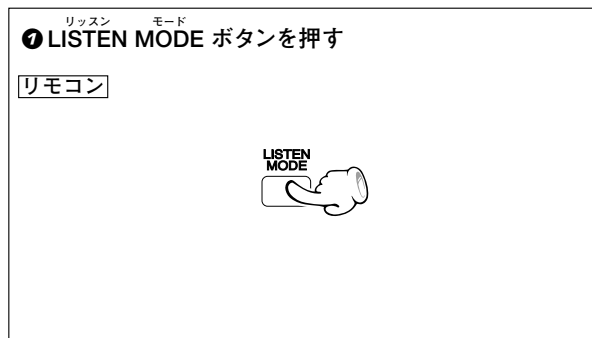
● **ヘッドホンを使用中はリッスンモードはSTEREOに固定され、切り換えはできません。**

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、PRO LOGIC及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」及び「DTS Digital Surround」はデジタルシアターシステムズの登録商標です。

リッスンモードを切り換えるには

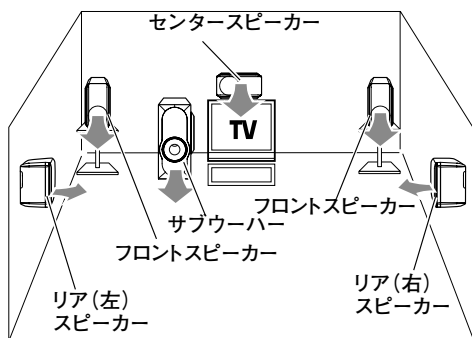
再生するソースの入力信号に合わせて、リッスンモードを選択することができます。

PCM、DOLBY DIGITAL (2 チャンネル) 信号、およびアナログ信号

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

(本体表示部) / (テレビ画面)

① PRO LOGIC / PROL (ドルビープロロジック)
② PLII MOVIE / MOVIE (ドルビープロロジック II ムービー)
③ PLII MUSIC / MUSIC (ドルビープロロジック II ミュージック)
④ PLII MATRIX / MTRX (ドルビープロロジック II マトリクス)
⑤ 3D SURR /3D SUR (3D サラウンド)
⑥ BYPASS / BYPASS（バイパス）

スピーカーの配置

最適なサラウンドサウンドで楽しむには、スピーカーの配置が重要なポイントになります。
下図を参考に最適な配置を見つけてください。

テレビ画面のそばに置くとき

テレビ画面のそばにサブウーハーを置いたときにテレビに縞模様がでるときは、サブウーハーとテレビを離してセットしてください。

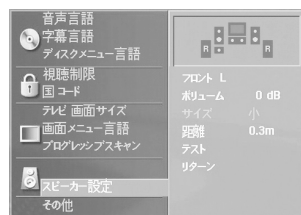
スピーカーの音量バランス

本機は標準的な使い方でもっとも良好な音量バランスになるようにあらかじめ設定されています。

スピーカーレベルの初期設定値

左フロントチャンネル	: 0dB
センターチャンネル	: 0dB
右フロントチャンネル	: 0dB
右サラウンド(リア)チャンネル	: 0dB
左サラウンド(リア)チャンネル	: 0dB
サブウーハー(SW)	: 0dB

次のようにして、視聴環境に合わせて設定することができます。

スピーカーの設定

1. **リモコンのSETUP(セットアップ)ボタンを押して、セットアップ画面を表示させる。**
2. **「スピーカー設定」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン(►)を押す。**
3. **リモコンのカーソル右ボタン(►)を押してスピーカーを選択する。**
4. **リモコンのカーソル上下ボタン(▲/▼)で必要な項目を選択する。**

スピーカーの選択

調整するスピーカーを選択します。
フロントL=左、フロントR=右、センター、
サラウンド(リア)L=左、サラウンド(リア)R=右、
サブウーハー

一部スピーカーの設定はドルビーデジタルのライセンス規定により調整できないようになっています。

ボリューム(音量バランス)

リモコンのカーソル左右ボタン(◄/►)を押して、選択されているスピーカーの音量を調整します。
(-6dB 〜 +6dB)

サイズ

「サイズ」は変更できません。

距離

リモコンのカーソル左右ボタン(◄/►)を押して、スピーカーからリスニングポジション(視聴位置)までの距離を設定します。それぞれのスピーカーからの音が、同時に届くように遅延時間を調整します。
(0.3 m 〜6 m)

サブウーハーは調整できません。

テスト信号

「テスト」を選んでENTER(エンター)ボタンを押すとそれぞれのスピーカーからテスト信号が聞こえます。同じ音量になるように「音量」セットをしてください。

(テスト信号の順番)
フロント左 → センター→ フロント右 →
サラウンド(リア)右 → サラウンド(リア)左 → サブウーハー

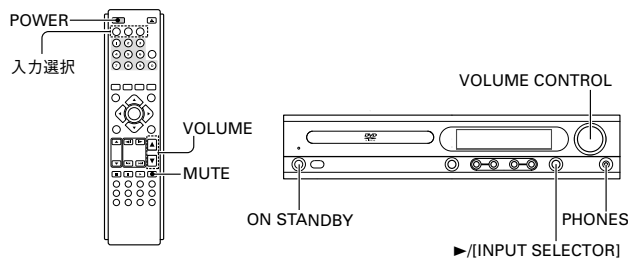
リターン

「リターン」を選択して、ENTER ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

DVT-6300 (JA/J)

準備

電源を入れる

本体

リモコン

基本的なつかいかた

1 入力を選ぶ

本体

►/〔INPUT SELECTOR〕

❶ ▶/[INPUT SELECTOR]ボタンを3秒以上押す。
❷ ▶/[INPUT SELECTOR]ボタンを繰り返し押して入力を切り換える。

リモコン

CD/DVD TUNER/BAND VIDEO 1/2

VIDEO 1/2ボタンを押したときには下のようにモードが切り換わります。

① VIDEO 1（音声、映像）
② VIDEO 1（映像）+ OPT（光デジタル音声入力）
③ VIDEO 2（音声、映像）
④ VIDEO 2（映像）+ OPT（光デジタル音声入力）

● スタンバイモードの時、▲ ボタン押すと電源が入りディスクトレイが開きます。
● ディスクがセットされているときCD/DVDボタンを押すと、ディスクの再生が始まります。

本体の ▶/[INPUT SELECTOR] ボタンを3秒以上押して、もう一度▶/[INPUT SELECTOR] ボタンを押すと入力モードが次のように切り換わります。

① CD/DVD →30
② VIDEO 1（音声、映像）
③ VIDEO 1（映像）+ OPT（光デジタル音声入力）
④ VIDEO 2（音声、映像）
⑤ VIDEO 2（映像）+ OPT（光デジタル音声入力）
⑦ FM（周波数表示） →27
⑧ AM（周波数表示） →27

2 音量を調節する

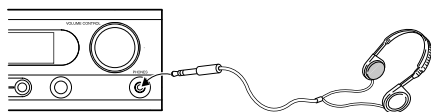
音量を最大にすると"**VOL MAX**"の表示がでます。

一時的に音を消すとき（ミュート機能）

リモコン

● MUTE（ミュート）ボタンを押します。
● 本機表示部の**MUTE**表示が点滅します。
● もう一度押すと元の音量に戻ります。
● 音量調節の操作をしてもミュートが解除されます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをPHONES端子に挿し込む

ヘッドホンを挿し込むと、自動的にステレオモードに切り換わります。

● **ヘッドホンを挿し込むと、スピーカーの音は消えます。**

操作編

ラジオ放送を聴く

あらかじめ30局までの放送局をプリセットし、呼び出すことができます。(→28)

1 入力をTUNER（チューナー）にする

リモコンのTUNER/BANDボタンを押します。

リモコン

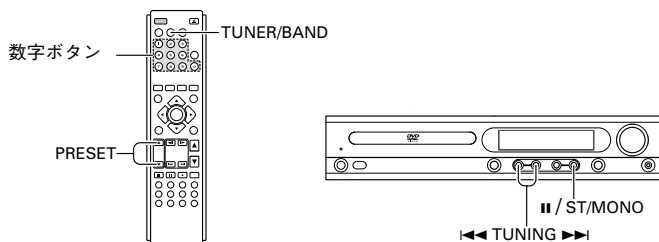
スタンバイ状態の時TUNER/BAND（チューナー/バンド）ボタンを押すと自動的に動作状態（オン）になります。

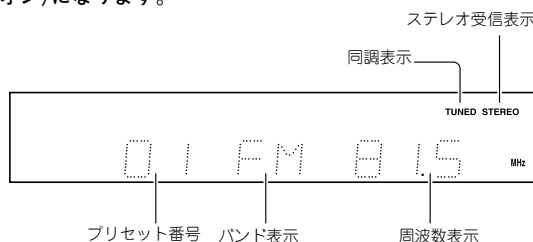
ステレオ受信表示

同調表示

TUNED STEREO

01 FM 81.5 MHz

プリセット番号　バンド表示　周波数表示

2 放送バンドを選ぶ

リモコンのTUNER/BANDボタンを押します。

リモコン

押すごとにバンドが切り換わります。

① FM
② AM

3 選局モードを選ぶ

本体の II／ST/MONOボタンを押します。

本体

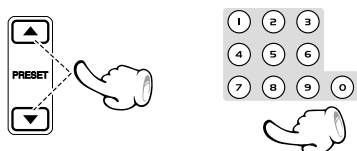
押すごとにモードが切り換わります。

① "STEREO（ステレオ）"：ステレオモード
② "MONO（モノ）"：モノラルモード

- FMステレオの受信状態が悪いときはモノラルモードにすると効果的です。

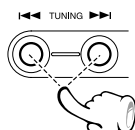
4 放送局を選ぶ

プリセットコール

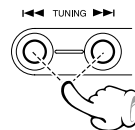
本体　リモコン

プリセットされた局を選ぶときは I◀◀ , ▶▶I ボタンを押して選びます。押すごとにプリセットされた局が呼び出されます。

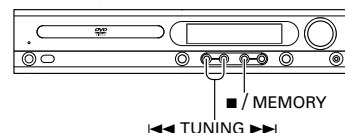
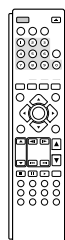
リモコンの数字ボタンで押すとき。
（例）プリセット番号3を選ぶとき：3
　　　プリセット番号14を選ぶとき：1 4
　　　（3秒以内に操作します。）

AUTO モード (自動選局)

本体

TUNING（チューニング）(I◀◀/▶▶I) ボタンを2秒以上押すと次の局を自動的に選局して止まります。

マニュアルモード（マニュアル選局）

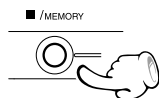
本体

ボタンを押すごとに1ステップずつ周波数が換わります。
電波が弱く雑音が多い場合はマニュアル モードを選択をしてください。

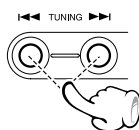
FMとAM放送局を30 局まで記憶させて(プリセット)、ワンタッチで呼び出すことができます。

放送局を記憶させる(プリセット)

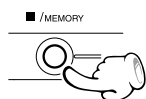
1 放送局を選ぶ(自動選局またはマニュアル選局) → 27

2 本体の■/MEMORY(メモリー)ボタンを押す

本体

表示が点滅している間に次の操作をしてください。

3 保存するプリセット番号を選ぶ

本体

4 本体の■/MEMORYボタンを押す

本体

続けて他の局をプリセットする場合は**1** から **4** を繰り返す。

操作編

DVD VCD オンスクリーン表示

ディスクの再生中にリモコンON SCREEN（オン スクリーン）ボタンを押すと、テレビ画面に様々な再生機能を表示させることができます。
各機能をカーソル上下（▲/▼）ボタンで選んで、カーソル左右（◀/▶）ボタンで操作することができます。

[DVD再生中の表示例]

表示	機能
1 /3	タイトル番号
1 /12	チャプター番号
0:20:09	時間表示（タイムサーチ）
1 ENG DD D 5.1 CH	音声言語 デジタル出力モード
ABC OFF	字幕言語
1 /1	アングル
	音声モード

[VCD再生中の表示例]

表示	機能
1 /4	曲番（トラック番号） （またはPBCモード）
0:20:09	時間表示（タイムサーチ）
STER.	音声チャンネル
BYPASS	音声モード

CD DVD VCD ラストシーンメモリー

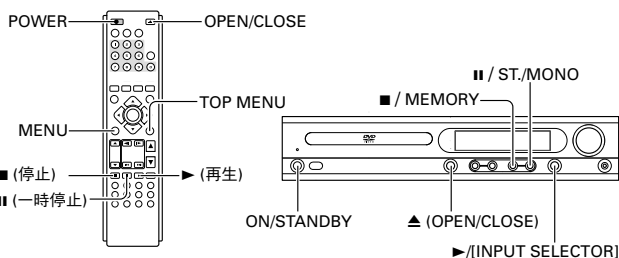
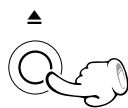
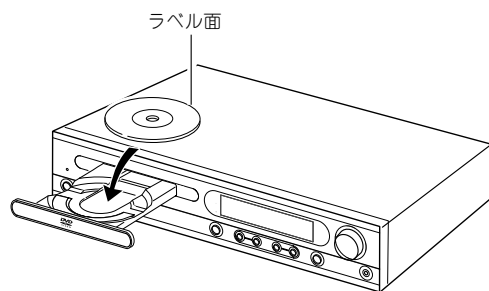
本機はディスクを再生して、途中でストップさせたり（■ボタンを1回だけ押す）、トレイを開閉させたり、または電源を切った後でも最後に再生していたシーンを記憶しています。同じディスクを続けてセットして再生した場合、最後に再生していたシーンから再生を始めます。
ラストシーンメモリーを使用しない場合は、ディスクの停止中にもう一度■（停止）ボタンを押すと記憶がクリアーされます。

ディスクの通常再生が始まる前に電源を切った場合はラストシーンメモリーは働きません。

DVT-6300 (JA/J)

基本的な使いかた

準備

電源を入れる

1 ディスクを入れる

本体

❶ トレイを開ける

❷ ディスクを入れる

ラベル面

2 再生を始める

- トレイが開いているときに ► ボタンを押すと自動的にトレイが閉まり再生が開始されます。

データ読み込み中、テレビ画面に「読込み中」と表示されます。

メモ

メニュー画面が表示されたときは
対話型のDVDを再生するとメニュー画面が表示されます。この場合、リモコンのカーソルボタンでメニューを選び、ENTER(エンター)ボタンを押して再生をスタートさせます。

再生を止めるには

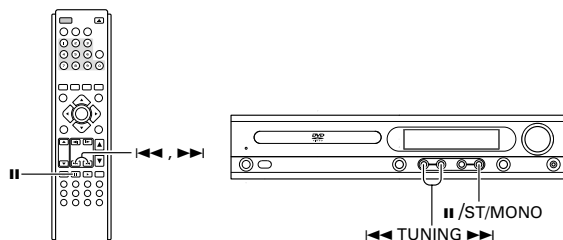
一時停止するには

- DVD再生中はボタンを押すごとにステップ動作をします。(→31)

メニュー画面がDVDに記録されている場合、TOP MENU(トップ メニュー)ボタンまたはMENUボタンを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面ではカーソルボタンでメニューを選択することができます。

または

ディスクの色々な再生

- DVD、VCDの再生でスキップ、サーチ、ステップやスロー再生中は音声が出ません。
- 映画などの始まりの画面などではスキップなどの再生機能は働きません。

CD DVD VCD チャプターや、トラック(曲)を飛び越す(スキップ)

- ボタンを押すごとにチャプターまたはトラック(曲)を飛び越して、選んだチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。
- 再生中に ⏮ ボタンを1回押すと、そのチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。
- ⏮ ボタンを続けて2回押すと、前のチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。

- ディスクがチャプターに分けられていない場合はチャプターの機能は働きません。

CD DVD VCD サーチ(早送り、早戻し)

❶ 再生中に⏮ または ⏭ ボタンを2秒以上押し続ける。

本体　リモコン

❷ ⏮ または ⏭ ボタンを繰り返し押し続けて、サーチスピードを選ぶ。

本体　リモコン

⏮: 早戻し (FR)
⏭: 早送り (FF)

- 2秒以上押し続けることを繰り返すたびにサーチスピードが切り換わります。

(DVD再生時)

① FF 2 X (⏭ ボタン) または FR 2 X (⏮ ボタン)
② FF 4 X (⏭ ボタン) または FR 4 X (⏮ ボタン)
③ FF 16 X (⏭ ボタン) または FR 16 X (⏮ ボタン)
④ FF 100X (⏭ ボタン) または FR 100X (⏮ ボタン)

(CD/VCD再生時)

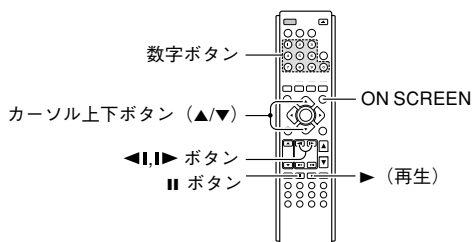
① FF 2 X (⏭ ボタン) または FR 2 X (⏮ ボタン)
② FF 4 X (⏭ ボタン) または FR 4 X (⏮ ボタン)
③ FF 8 X (⏭ ボタン) または FR 8 X (⏮ ボタン)

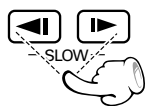
- 通常再生に戻るには ▶ ボタンを押します。

DVD VCD ステップ(コマ送り)再生

リモコン

- 再生中に II **(一時停止)** ボタンを押す。
- ボタンを押すごとに1コマずつ再生します。
- 通常再生に戻るには ▶ ボタンを押します。

操作編

DVD VCD スローモーション再生

リモコン

- 再生中にSLOW（◀II、II▶）ボタンを押す。
- 押すごとにスローモーションのスピードが変わります。

（DVD再生時）

① SF 1/16（II▶ ボタン）または SR 1/16（◀II ボタン）
② SF 1/8（II▶ ボタン）または SR 1/8（◀II ボタン）
③ SF 1/4（II▶ ボタン）または SR 1/4（◀II ボタン）
④ SF 1/2（II▶ ボタン）または SR 1/2（◀II ボタン）

（VCD再生時）
（スロー戻しはできません）

① SF 1 /16（II▶ ボタン）
② SF 1 /8（II▶ ボタン）
③ SF 1 /4（II▶ ボタン）
④ SF 1 /2（II▶ ボタン）

- 通常再生に戻るには ▶ ボタンを押します。

操作編

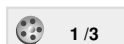
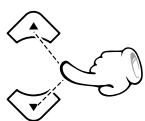
CD DVD VCD 好きなDVDのタイトルまたはCD/VCDのトラック（曲）から再生する

DVDビデオではディスクの内容が複数のタイトルに分けられており、タイトルのなかをさらに複数のチャプターに分けられています。（映画など、DVDの内容によっては複数のタイトルや、チャプターに分けられて いない場合もあります。）

（DVD再生時）

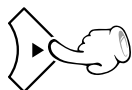
リモコン

❶ ON SCREENボタンを押す。

❷ カーソル上下（▲/▼）ボタンを押し、タイトル、またはチャプターを選ぶ。

タイトルアイコン

チャプターアイコン

❸ リモコンのカーソル右ボタン（▶）を押すか、または数字ボタンで番号を押す。

（例）チャプター23を選ぶとき：2 3
（3秒以内に操作します。）

または

- 10秒以上操作をしないと表示が消えます。

- 複数のチャプターに分けられていないDVDではこの操作で選択できません。

（CD/VCD再生時）

リモコン

❶ 数字ボタンで番号を押す。

（例）トラック（曲番）23を選ぶとき：2 3
（3秒以内に操作します。）

- VCDでP.B.C. オンモードのときは働きません。 →19

DVD 音声言語を選ぶ

ディスクに複数の言語が記録されているときはリモコンのAUDIO(オーディオ)ボタンを押すと、ディスクの言語を切り換えることができます。

再生中にリモコンのAUDIOボタンを押す。

音声言語アイコン

AUDIOボタンを押すごとに言語が切り換わります。

- 約3秒操作しないと画面上の表示は消えます。

1. ディスクに複数の言語が記録されていない場合は切り換えられません。
2. 初期設定で設定した言語に関わらず、AUDIOボタンで切り換えるとそのディスクの再生中は一時的に選んだ言語が優先されます。(ディスクによっては切り換えられない場合もあります)

VCD 音声出力のチャンネルを切り換える

VCDの音声出力を左チャンネルだけ、右チャンネルだけ、またはステレオ出力に切り換えることができます。（音声多重カラオケなどに便利です。）

VCDの再生中にリモコンのAUDIOボタンを押す。

音声チャンネルアイコン

STER.

押すごとに次のように切り換わります。

① LEFT(レフト)(左側)
② RIGHT(ライト)(右側)
③ STER.(ステレオ)(ステレオ)

DVD 字幕言語を選ぶ

DVDを再生しているとき、字幕の言語を切り換えることができます。

再生中にリモコンのSUBTITLE(サブタイトル)ボタンを押す。

字幕言語アイコン

SUBTITLEボタンを押すごとに字幕が切り換わります。

- 約3秒操作しないと画面上の表示は消えます。

1. ディスクに複数の言語が記録されていない場合は切り換えられません。
2. ディスクによっては字幕言語のメニューが表示されるものもあります。(ディスクによっては切り換えられない場合もあります)

DVD VCD ブックマーク機能を使う

ブックマーク(しおり)を付けておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。ブックマークは9ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

❶ 再生中にマークを付けたいシーンにきたら、リモコンのMARKER(マーカー)ボタンを押す。

マーカーアイコン

1/9

- マーカーアイコンがテレビ画面上に表示されます。
- 操作を繰り返すことにより、9ヶ所までマークすることができます。

ブックマークされたシーンを呼び出す または、削除する

❶ 再生中にリモコンのSEARCH(サーチ)ボタンを押す。

マーカーサーチアイコン

MARKER SEARCH

- マーカーサーチアイコンがテレビ画面上に表示されます。

❷ リモコンのカーソル左右 (◀/▶) ボタンを押して、呼び出したいブックマーク番号(または削除したいブックマーク番号)を選ぶ。

❸ 再生シーンを呼び出す場合はENTER(エンター)ボタンを、削除する場合はCLEARボタンを押す。

再生

削除

- ブックマークを9ヶ所まで付けると、それ以上は付けられません。
- ディスクによってはブックマーク機能が働かないものがあります。

全てのブックマークを削除するには

- ディスクを取り出すか、または電源をオフにすると全てのブックマークが削除されます。

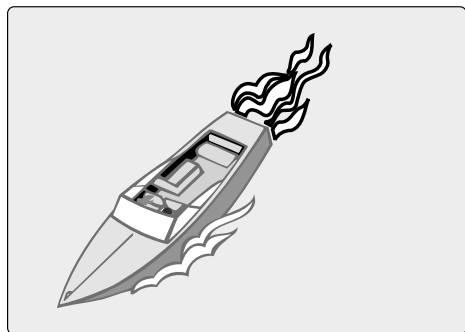
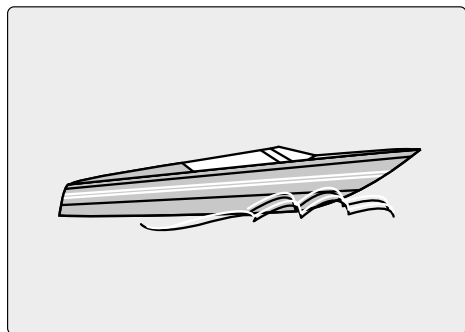
操作編

DVD カメラアングルを選ぶ

ディスクによってはマルチアングル機能に対応したものが有ります。1つのアングルしか記録されていないディスクではこの機能は働きません。

❶ 再生中にリモコンのANGLE（アングル）ボタンを押す。

複数のアングルで記録されたシーンではマルチアングルのマークが表示されます。

アングルアイコン

❷ ANGLEボタンを押して、カメラアングルを選ぶ。

- 約3秒操作しないとアングルアイコンは消えます。

操作編

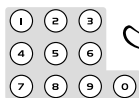
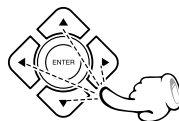
DVD タイトルメニュー/ディスクメニュー

DVDの中にはメニュー画面が記録されているものがあり、色々な機能を提供しています。

タイトルメニューを使う

❶ リモコンのTOP MENU（トップ メニュー）ボタンを押す。

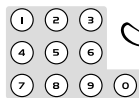
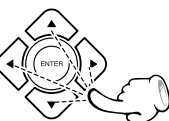
- DVDにタイトルメニューが記録されているときはタイトルメニューが表示されます。それ以外の場合はディスクメニューが表示されます。（ディスクメニューが記録されているとき）
- メニューはカメラアングル、音声言語、字幕のオプションや、チャプターリストなどが表示されます。

❷ リモコンの数字ボタンや、カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）を使って、項目を選択し、ENTERボタンを押す。

- タイトルメニューを消すにはもう一度TOP MENUボタンを押す。

ディスクメニューを使う

❶ リモコンのMENUボタンを押す。

- ディスクメニューが表示されます。

❷ リモコンの数字ボタンや、カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）を使って、項目を選択し、ENTERボタンを押す。

- タイトルメニューを消すにはもう一度MENUボタンを押す。

DVD CD VCD リピート(繰り返し)再生

お好みのタイトル、チャプター、トラック(曲)またはディスク全曲を繰り返し再生することができます。

DVD再生時

- "CHAPT"(チャプター):再生中のチャプターを繰り返し再生。
- "TITLE"(タイトル):再生中のタイトルを繰り返し再生。

CD/VCD 再生時

- "TRACK"(トラック):再生中のトラックを繰り返し再生。
- "ALL"(オール):再生中のディスク全曲を繰り返し再生。

再生中にリモコンのREPEAT(リピート)ボタンを押す。

リピートアイコン

押すごとにリピートモードが切り換わります。

DVD再生時
① CHAPT(チャプター)
② TITLE(タイトル)
③ OFF(リピート解除)

CD/VCD再生時
① TRACK(トラック)
② ALL(全曲)
③ OFF(リピート解除)

- リピート再生をやめるときは、**REPEAT**ボタンを押して、"**オフ**"を選びます。

チャプター(トラック)リピート再生中に ▶▶I ボタンを押すとリピートモードは解除されます。

"リピート(繰り返し)再生(MP3/WMAのみ)"→41

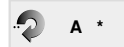
VCDでP.B.C.オンモードのときはリピート再生できません。→21

DVD CD VCD A-Bリピート再生

お好みの区間を繰り返し再生することができます。
開始部分のA部から終了部分のB部まで繰り返します。

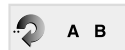
❶ **リピートを開始したい位置でリモコンのA-Bボタンを押す。**

リピート Aアイコン

A *

- "A"が表示されます。

❷ **リピートを終了したい位置にきたらA-Bボタンを押す。**

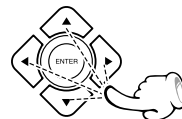
AとBの区間を繰り返し再生します。

リピート A-Bアイコン

- A-Bリピート再生を解除するときは**A-B**ボタンを押します。

DVD VCD ズーム機能

画像を拡大表示することができます。

❶ **再生中にリモコンのZOOM(ズーム)ボタンを押す。**

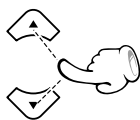
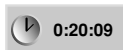
❷ **拡大表示中にリモコンのカーソル(◀/▶/▲/▼)ボタンを押して、表示部分を移動させることができます。**

- 通常再生に戻るときは、**CLEAR** ボタンを押すか、または **ZOOM** ボタンを繰り返し押します。

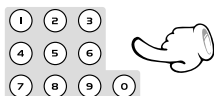
DVDソフトによってはZOOM機能が働かない場合もあります。

DVD タイムサーチ機能を使う

時間を入力して再生を始めることができます。

❶ 再生中にリモコンのON SCREENボタンを押す。

❷ カーソル上下(▲/▼)ボタンを押し、タイムサーチ(時間表示)を選ぶ。

タイムサーチアイコン

- "-:--:--" が表示されます。
- 約10秒間操作しないと表示が消えます。

❸ 再生を始める時間を「時」、「分」、「秒」の順で入力する。

- 間違えた場合は、CLEARボタンを押し、入力し直します。

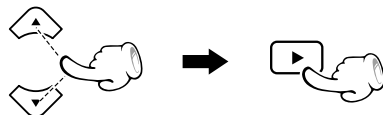
❹ ENTERボタンを押して入力を確定します。

- 入力した時間から再生が始まります。

メモ ディスクによってはタイムサーチ機能が働かない場合もあります。

CD テレビ画面でCD再生を始める

CDディスクをセットするとテレビ画面にメニュー画面が表示されます。

リモコンのカーソル上下(▲/▼)ボタンを押して、トラック(曲番)を選び、再生(►)ボタン、またはENTERボタンを押して、再生を開始する。

- 次のページに移動するときはTOP MENUボタンを押します。
- 前のページに移動するときはMENUボタンを押します。

DVT-6300 (JA/J)

CD VCD プログラム再生

CDまたはVCDの好きなトラック(曲)を好きな順にプログラムして聞くことができます。

プログラムをする

❶ **ディスクをセットし、トレイを閉める。**

❷ **P.MODE(プログラムモード)ボタンを押してプログラムモードにする。**

プログラム画面が表示されます。

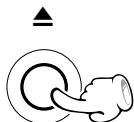
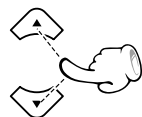
点灯

CD　プログラム

CD再生時の例

CD	プログラム
TRACK01	TRACK12
TRACK02	TRACK08
TRACK03	TRACK10
TRACK04	TRACK03
TRACK05	
TRACK06	
TRACK07	
TRACK08	オールクリア

■ 0:53:58　STER.　BYPASS

トラックリスト　プログラムリスト

❸ **リモコンのカーソル上下ボタン (▲/▼)で、プログラムしたいトラック(曲)を選ぶ。**

❹ **リモコンのENTER(エンター)ボタンを押してプログラムリストにトラックを追加する。**

❺ **手順 ❸ - ❹を繰り返し、30 トラックまでプログラムすることができます。**

❻ **リモコンのカーソル右ボタン (►)を押す。**

プログラムリストで最後にプログラムしたトラックが反転表示されます。

❼ **プログラムリスト上で、再生を開始したいトラックを選ぶ。**

- 次のページに移動するときは**TOP(トップ) MENU(メニュー)**ボタンを押します。
- 前のページに移動するときは**MENU**ボタンを押します。

❻ **PLAYボタンまたはENTERボタンを押し、再生を開始する。**

選んだトラックからプログラム順に再生されます。
全てのプログラムされたトラックを1回再生して、停止します。

- "MP3、WMAプログラム再生" →42
- ■(停止)ボタンを押すと停止します。再生を開始する場合は►(再生)ボタンを押します。
- プログラムモードを解除するときはP.MODEボタンを押す。

メモ VCDでP.B.C.オンモードのときはプログラム再生できません。 →21

プログラム再生を繰り返す

プログラム再生中にリモコンのREPEAT(リピート)ボタンを押す。

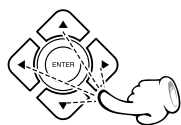
押すごとにモードが切り換わります。

① **TRACK(トラック)**
② **ALL(全曲)**
③ **OFF(リピート解除)**

トラックリピート再生中に ►►I ボタンを押すとリピートモードは解除されます。

操作編

プログラムを消去する

❶ リモコンのカーソル(◀/▶/▲/▼)を押し、プログラムリスト上の消去したいトラックを選ぶ。

❷ CLEAR(クリアー)ボタンを押す。

プログラムを全て消去する

"オールクリアー"(全て消去)アイコンを選択し、ENTER(エンター)ボタンを押す。

ディスク上のプログラムが全て消去されます。

- ディスクを取り出したときも、全てのプログラムが消去されます。

VCDでP.B.C.オンモードのときはプログラム再生できません。 →21

MP3/WMA/JPEGの手引き

本機で再生できるMP3/WMA/JPEG メディアについて

使用できるメディア　　：CD-ROM、CD-R、CD-RW
使用できるフォーマット：ISO9660　Level 1
再生できるファイル　　：MP3 ファイル、WMA ファイル、JPEGファイル

本機で再生するメディアの作成について

MP3/WMAファイルに圧縮するとき

MP3ファイル、WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
MP3 ファイル：推奨128kbps(32kbps-320kbps)
WMA ファイル：推奨128kbps(40kbps-192kbps)

- **本機は32 kHz、44.1 kHz(推奨)、48 kHz のサンプリング周波数に対応しています。**
- **本機はID3-TAG Ver. 1.に対応しています。**
- **MP3/WMAデーターのデジタル出力はMP3/WMAデーターのままではなく、PCMデーターとして出力されます。**

ファイル名や、フォルダ名を付けるとき

ファイル名や、フォルダ名は半角英字のA〜Z、半角数字の0〜9、半角の _ (アンダースコア)を使って付けてください。
ファイル名には必ず拡張子 "mp3 (MP3ファイル)" 、"wma(WMAファイル)、または "jpg (JPEGファイル)" を付けます。

- **MP3(またはWMA)以外のファイルに "mp3"(または"wma")の拡張子を絶対に付けないでください。MP3(またはWMA)以外のファイルに "mp3"(または"wma")の拡張子が付いていると本機が再生しようとして、大きな雑音が出て、スピーカーなどが故障する恐れがあります。**
- **JPEG以外のファイルに"jpg" の拡張子を絶対に付けないでください。JPEG以外のファイルに"jpg" の拡張子が付いていると正常に動作しません。**

メディアとファイルの確認をする

MP3ファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、そのファイルが正しく再生されることを確認してください。
また、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。

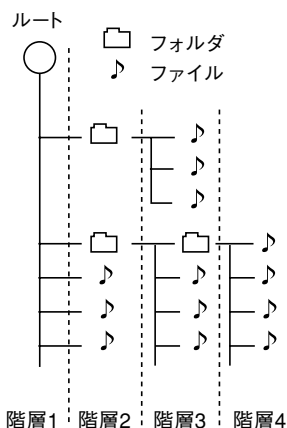
- **メディアに書き込んでる途中では、ファイルが正しく再生されることを確認することはできません。**

メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。

- **書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。**
- **本機で再生するMP3、WMA、JPEG以外のファイルや、フォルダなどを書き込まないようにしてください。**
- **MP3、WMA、JPEGファイルをメディアに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。**
- **マルチセッションディスクの場合、再生が始まるまで時間がかかることがあります。**
- **MP3、WMA、JPEG のファイル(CD-ROM)と音楽CD(CD-DA)を1枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。**

階層構造の例

フォルダ名、ファイル名は12文字まで表示されます。

MP3、WMA、JPEGファイルの再生

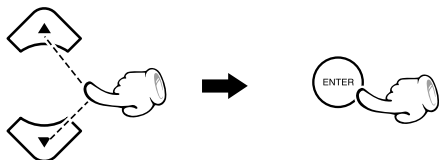
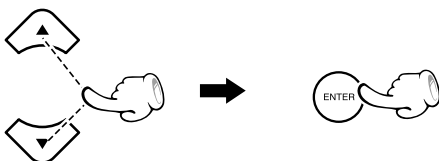
● ディスクの記録された情報を読みとって、再生が始まるまで多少時間がかかることがあります。

再生

❶ ディスクをセットし、トレイを閉める。

● MP3、WMA、JPEGを選択するメニューがテレビ画面上に表示されます。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押してMP3/WMAまたはJPEGを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す。

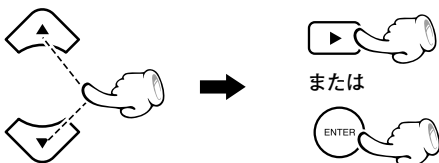
DISCメニュー画面が表示されます。

❸ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して再生するフォルダーを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す。

RETURNを押すとMP3/WMA、JPEG選択画面に戻ります。

MP3/WMA のファイルリスト表示中にフォルダーに戻りたいときは、カーソル上下(▲/▼)ボタンで ..アイコンを選んで、ENTER ボタンを押します。

❹ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) ボタンを押して再生するファイルを選び、►(再生)ボタンまたはENTER(エンター)ボタンを押して再生を開始する。

再生がスタート(MP3/WMAファイル)、またはJPEGファイルの画像が表示されます。

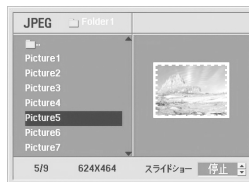
JPEGファイルの表示中にリモコンのRETURN(リターン)ボタンを押すと前の画面に戻ります。

RETURNボタンを押す

● 次のページに移動するときはTOP MENU(トップ メニュー)ボタンを押します。
● 前のページに移動するときはMENUボタンを押します。
● JPEG画像を表示中は、画像を次々と切り換えることができます。("スライドショー(JPEGのみ)" →41)

再生を止めるときは ■(停止)ボタンを押します。

一時停止するには(スチル再生)

再生中に ❚❚ ボタンを押す(MP3/WMA)。またはスライドショー再生中に❚❚ ボタンを押す(JPEG)。

本体　　リモコン

音楽またはスライドショーが一時停止します。再開するときはもう一度 ❚❚ ボタンを押すか、または ►(再生)ボタンを押します。

操作編

DVT-6300 (JA/J)

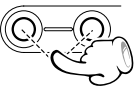
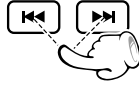
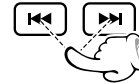
サーチ（MP3/WMAのみ）→ 31

❶ 再生中に⏮ または ⏭ ボタンを2秒以上押し続ける。

本体

リモコン

❷ ⏮ または ⏭ ボタンを繰り返し押し続けて、サーチスピードを選ぶ。

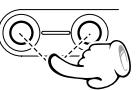
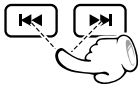
本体

リモコン

- 押し続けるごとにサーチスピードが切り換わります。
  - ① FF 2 X (⏭ ボタン) または FR 2 X (⏮ ボタン)
  - ② FF 4 X (⏭ ボタン) または FR 4 X (⏮ ボタン)
  - ③ FF 8 X (⏭ ボタン) または FR 8 X (⏮ ボタン)
- 通常再生に戻るには ► ボタンを押します。

スキップ（ファイルを飛び越す）→ 31

再生中に ⏮ または ⏭ ボタンを押す。

本体

TUNING

リモコン

⏮ : 前へ飛び越す
⏭ : 先へ飛び越す

リピート（繰り返し）再生(MP3/WMAのみ) → 35

お好みのファイルまたはフォルダを繰り返し再生します。

- "TRACK（トラック）":再生中のファイルを繰り返し再生。
- "ALL（オール）" : 再生中のフォルダ全曲を繰り返し再生。

❶ 再生中にリモコンのREPEAT（リピート）ボタンを押す。

押すごとにリピートモードが切り換わります。

① TRACK（トラック）
② ALL（全曲）
③ OFF（リピート解除）

- リピート再生をやめるときは、REPEATボタンを押して、"オフ"を選びます。

メモ トラックリピート再生中に ⏭ ボタンを押すとリピートモードは解除されます。

スライドショー（JPEGのみ）

スライドショーとはJPEG静止画を次々と切り換えて表示する機能です。
3種類のスライドスピードを選ぶことができます。

❶ リモコンのカーソル（◄/►/▲/▼）ボタンを押し、スライドスピードアイコンを選択する。

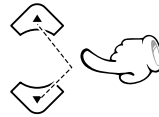
スライドスピードアイコン

❷ リモコンのカーソル上下（▲/▼）ボタンでスライドスピードを選び、ENTER（エンター）ボタンを押す。

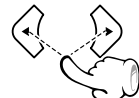
- Fast（ファースト） : 早い
- Normal（ノーマル）: 普通
- Slow（スロー） : おそい
- 停止

画像を反転させる (JPEGファイルのみ)

リモコンのカーソル上下ボタン（▲/▼）を押して、画面を上下方向、または左右方向に反転させることができます。

▲ ボタン： 上下方向に反転
▼ ボタン： 左右方向に反転

画像を回転させる (JPEGファイルのみ)

リモコンのカーソル左右ボタン（◄/►）を押して、画像を時計方向、または反時計方向に回転させることができます。

操作編

MP3、WMAプログラム再生➡37➡38

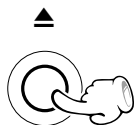
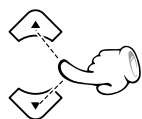
MP3、WMAファイルを好きな順にプログラムして再生することができます。

プログラムをする

❶ ディスクをセットし、トレイを閉める。

❷ P.MODE(プログラムモード)ボタンを押してプログラムモードにする。

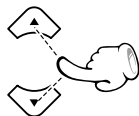
プログラム画面が表示されます。

点灯

❸ リモコンのカーソル上下ボタン (▲/▼)で、プログラムしたいファイルを選ぶ。

❹ リモコンのENTER(エンター)ボタンを押してプログラムリストにファイルを追加する。

❺ 手順 ❸ - ❹を繰り返し、30 トラックまでプログラムすることができます。

❻ リモコンのカーソル右ボタン (►)を押す。

プログラムリストで最後にプログラムしたトラックが反転表示されます。

❼ プログラムリスト上で、再生を開始したいトラックを選ぶ。

- 次のページに移動するときはTOP MENU(トップ メニュー)ボタンを押します。
- 前のページに移動するときはMENUボタンを押します。

❻ PLAYボタンを押し、再生を開始する。

選んだ**ファイル**からプログラム順に再生されます。
全てのプログラムされた**ファイル**を1回再生して、停止します。

プログラム再生を繰り返す

プログラム再生中にリモコンのREPEAT(リピート)ボタンを押す。

押すごとにモードが切り換わります。

① TRACK(トラック)
② ALL(全曲)
③ OFF(リピート解除)

トラックリピート再生中に ►►I ボタンを押すとリピートモードは解除されます。

プログラムを消去する

❶ リモコンのカーソル(◄/►/▲/▼)を押し、プログラムリスト上の消去したいトラックを選ぶ。

❷ CLEAR(クリアー)ボタンを押す。

プログラムを全て消去する

❶ "オールクリアー"(全て消去)アイコンを選択し、ENTER(エンター)ボタンを押す。

ディスク上のプログラムが全て消去されます。

- ディスクを取り出したときも、全てのプログラムが消去されます。

スリープタイマー

90分までの残り時間を設定して、自動的に電源を切ることができます。

リモコンのSLEEP（スリープ）ボタンを繰り返し押して、残り時間を設定する。

本体表示部にSLEEP表示と残り時間が表示されます。

- SLEEPボタンを押すたびに下のように切り換わります。

(SLEEP) 90→80→70→・・・・→20→10→OFF

電源が切れるまでの残り時間を確認することができます。

SLEEPボタンを押すと残り時間が表示されます。

ディマー機能

本体表示部の明るさを変えることができます。

リモコンのDIMMER（ディマー）ボタンを押すと、明暗が切り換わります。

故障と思われる症状ですが...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンの時の電源コードの抜き差しや、外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)することがあります。この場合、電源コードを抜き、数秒してから再度電源コードをコンセントに差し込んでください。

リモコン部

症　状	原　因	処　置
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。	● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。

レシーバー(ラジオ)、スピーカー部

症　状	原　因	処　置
音がでない	● スピーカーコードが接続されていない。 ● MUTE(消音)機能が働いている。 ● ヘッドホンプラグが挿入されている。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する → 12 ● リモコンのMUTE ボタンを押し解除する → 26 ● ヘッドホンプラグを抜く → 26
スピーカーから音がでない	● スピーカーコードが接続されていない。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する → 12
放送を受信できない	● アンテナが接続されていない。 ● 適切な放送バンドが選ばれていない。 ● 放送局のある周波数を選んでいない。	● アンテナを接続する → 13 ● バンドを選ぶ。 → 27 ● 放送局のある周波数を選択する。 → 27
雑音が混信する	● 車のイグニッションノイズを拾っている。 ● 電子機器の影響を受けている。 ● テレビが本機の近くに置かれている。	●屋外アンテナを、道路から離して設置する。 → 13 ● 疑わしい電子機器の電源を切る。 ● テレビと本機の間を離しておく。
プリセットした放送局が、PRESETボタンで呼び出せない。	● プリセットした周波数の放送局が、受信できない放送局である。 ● 電源コードを長い期間抜いてあったため、プリセットメモリーが消えた。	● 受信できる周波数をプリセットする。 → 28 ● もう一度プリセットし直す。
スタンバイインジケーターが赤く点滅する。	● スピーカコードの接続が正しくされていない。	● スピーカーの接続をチェックする。スピーカーの接続をチェックして、直らなかった場合には販売店、またはケンウッドサービスセンターにサービスを依頼する。
サラウンドスピーカーから音がでない。	● リッスンモードがステレオになっている。	● **LISTEN MODE**ボタンでリッスンモードを切り換える。 → 24

禁止アイコン

症　状	原　因	処　置
⃠ 禁止アイコンが表示され、リモコンで操作できない。	● ソフト制作者が意図して再生制限状態にしてある。	● 操作できませんので、他の操作をしてください。

DVD プレーヤー部

症　状	原　因	処　置
►ボタンを押しても、再生が始まらない。	● ディスクが入っていない。 ● MP3/WMA、JPEGの選択が間違っている。	● ディスクを入れて、►ボタンを押す。 ● 正しく選択する。 → 40
再生が始まっても、映像／音声が出ない。	● TVの電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。	● TVの電源を入れる。 ● 正しく接続し直す。 → 14
再生時、早送りで、画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。	● 故障ではありません。
音が出ない。	● 音声出力コードが正しく接続されていない。 ● TV、アンプなどの音量調節がされていない。 ● 特殊な再生モードになっている。	● 正しく接続し直す。 → 14 ● 適正な音量に調節します。 ● ►ボタンを押して通常モードにします。
画面が表示されない	● プログレッシブ非対応のTVでプログレッシブモードに設定されている。	● ■（停止）ボタンを5秒以上押し続けるとインターレースモードに戻ります。
きれいに映らない、画質／音質がよくない。	● 雑音源と思われる他の機器が、そばにある。 ● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がついている。 ● 光学レンズが結露している。	● 本機と、雑音源と思われる他の機器をできるだけ離す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、汚れをふきとる。 → 11 ● 新しいディスクと交換する。 ● "結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 → 11
再生が始まるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類やサイズの検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。	● ディスクによって異なりますが、約10〜20秒程度待ちます。
トレイが自動的にオープンする。	● ディスクが斜めに入っている。 ● 信号が記録されていない面を再生している。	● ディスクを入れ直す。 ● ディスクを裏返して正しく入れ直す。
画面の上下が欠ける。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットの関係が合っていない。	● "テレビ画面のビデオフォーマットについて"を参照し、正しいフォーマットのディスクと、テ[illegible]を使用します。 → 16
字幕がでない。	● 字幕の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。 ● 字幕モードがオフになっている。	● 字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 ● SUBTITLE（サブタイトル）ボタンを押して[illegible]幕モードをオンにする。 → 32
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。
アングルを切り換えて見ることができない。	● 複数のアングルが記録されていないDVDディスクを再生しようとしている。 ● DVDディスクの複数のアングルが記録されていない部分でアングルを切り換えようとしている。	● 複数のアングルが記録されていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。 ● 複数のアングルは、特定の部分のみ記録されている場合があります。
タイトルを選んでも、再生が始まらない。	● 視聴制限レベルが設定されている。	● 視聴制限の設定を確認してください。
視聴制限レベルが変更できない。	● 視聴制限で設定したパスワードを忘れた。	● 以下の手順でパスワードをリセットしてください。 ① **SETUPボタンをおして、セットアップメニューを表示させる。** ② **6桁の数字 "210499" を入力するとパスワードがリセットされます。** ③ **新しいパスワードを入力します。**
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに選んだ音声言語や字幕言語が入っていない。 ● DVDディスクで初期再生言語が指定されている。 ● DVDディスクの仕様でメニュー画面で選ぶようになっている。	● 選んだ音声言語や字幕言語が入っているDVDディスクに交換する。 ● リモコンの**SUBTITLE**ボタンまたは**AUDIO**ボタンで言語を設定する。 ● ディスクのメニュー画面で選ぶ。
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● ディスクメニュー言語機能（MENU）で言語が設定されていない。	● ディスクメニュー言語を設定する。
VCDのメニュー再生ができない。	● プレイバック・コントロール付き以外のVCDを再生しようとしている。	● プレイバック・コントロール付きのVCD以外は、メニュー再生できません。

定格

本体

[アンプ部]

ステレオモード
実用最大出力 .... 55 W + 55 W (JEITA規格、8 Ω)
サラウンドモード（1チャンネル動作時）
最大出力
フロント .... 55 W + 55 W (1 kHz, ひずみ率10 %. 8 Ω)
センター .... 55 W (1 kHz, ひずみ率10 %. 8 Ω)
サラウンド .... 55 W + 55 W (1 kHz, ひずみ率10 %. 8 Ω)
サブウーハー .... 100 W (100 Hz, ひずみ率10 %. 4 Ω)
入力レベル/インピーダンス
VIDEO1/VIDEO2 .... 650 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス
VIDEO1 ....1 V / 100 Ω

[デジタルオーディオ部]

入力レベル/インピーダンス/波長
オプティカル（VIDEO1/VIDEO2） .... -21 dBm 〜 -15 dBm, 660 m

[チューナー部]

FM チューナー部
周波数範囲 .... 76 MHz 〜 90 MHz
AM チューナー部
周波数範囲 .... 522kHz 〜 1,629kHz

[DVD/CD/VCDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
ビデオ出力方式 .... NTSC

[ビデオ部]

入力レベル/インピーダンス
映像入力レベル（VIDEO1/VIDEO2）
コンポジット ....1 Vp-p /75 Ω
出力レベル/インピーダンス
映像出力レベル（MONITOR OUT / VIDEO1）
コンポジット ....1 Vp-p /75 Ω
S-映像出力（MONITOR OUT）
Y 信号 ....1 Vp-p /75 Ω
C 信号
NTSC .... 0.286 Vp-p /75 Ω
PAL .... 0.300 Vp-p /75 Ω
コンポーネントビデオ出力（MONITOR OUT）
Y- 信号 .... 1 Vp-p /75 Ω
CB / CR 信号 .... 0.7 Vp-p /75 Ω

[電源部、その他]

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 80 W
最大外形寸法 .... 幅： 360 mm
高さ： 74 mm
奥行： 375 mm
質量（重量） .... 4.4 kg (正味)

スピーカー部（KSW-6300）

(フロント/センター)

エンクロージャー .... バスレフ型（防磁/JEITA規格）
スピーカーユニット
フルレンジ .... 50 mm、コーン形
インピーダンス .... 8 Ω
許容電力入力値（DVR-6300） .... 60 W
最大外形寸法 .... 幅：80 mm
高さ：160 mm
奥行：98 mm
質量（重量） .... 0.5 kg (1 本)

(サラウンド)

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット
フルレンジ .... 50 mm、コーン形
インピーダンス .... 8 Ω
許容電力入力値（DVR-6300） .... 60 W
最大外形寸法 .... 幅：80 mm
高さ：160 mm
奥行：98 mm
質量（重量） .... 0.4 kg (1 本)

(サブウーハー)

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット
ウーハー .... 160 mm、コーン形
インピーダンス .... 4 Ω
許容電力入力値（DVR-6300） .... 100 W
最大外形寸法 .... 幅：140 mm
高さ：350 mm
奥行：325 mm
質量（重量） .... 4.0 kg

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（摂氏0度以下の）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。(お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障と思われる症状ですが...」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　)　　　-

ケンウッド サービス網

2004年5月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越			
埼玉サービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原1-311-1加茂宮ビル1F	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
東京サービスセンター	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
神奈川サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
中部			
名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター　〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2　☎ (045) 933-5133　FAX (045) 933-5553
☎ (06) 6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます。）

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（ 各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話（045）933-5133　（06）6394-8085　（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます。）
FAX（045）933-5553　〒226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、上記の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。